

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第22区)

東京都選挙管理委員会



希望の党 金ヶ崎絵美

希望のある国にしたい

今の政治は、どこに向かって、誰のために行われているのでしょうか？
政治が国民の方を向かずになされていくのは、私たちの暮らし・経済・安全が損なわれてしまうという危機感を抱き立候補しました。私たちが国民である以上、日本の政治や未来に「希望」を失ってはいけないと思います。誰もが安心して生活ができるよう、皆で国のあり方を議論し改革していかねばなりません。

私たちが抱えている身近な問題(子ども・高齢者・雇用等の問題)を一つずつ解決していく必要性もあります。
スピード感のある国政改革を進めること、国民に対して国政に関する情報を徹底して公開すること、身近な声を国政において取り上げることを実現し、私たちが希望を持てるよう、国民のために政治をしていきます。

一 生活基盤(家庭や仕事)を築きあげること
まずは、生活基盤の基本である家庭と仕事に関する問題の解決に取り組みます。待機児童問題、介護サービスの効率化や介護人材の確保に力を入れるとともに、働く意欲と力のある高齢者のために、いつまでも働きやすい環境を整えます。何歳でも、どのような状況でも常に学べる・仕事ができる。そのような多様な人生を送ることができ、生き生きとした社会の実現を目指します。

二 経済の活性化を目指すこと
実態と実感のあるかたちで、日本経済を活性化させていかなければなりません。
そのための方策の一つとして、地方自治の仕組みを見直し、地域の活性化を図っていきます。地域資源のアピール等の地域の魅力の発信、商店街や地域コミュニティの支援等に力を入れます。また、日本人が得意な分野における新規事業の挑戦を支援するとともに、事業を廃業させないよう、事業承継の支援体制の強化にも力を入れます。

三 私たちの安全を守ること
北朝鮮やテロ等により原発が狙われ、私たちが甚大な被害を受けることがないよう、将来的に原発を廃止することを目指します。同時に、原発に代わるバイオマスや地熱等の再生可能エネルギーの導入や普及に力を入れます。創意工夫のもと代替エネルギーを確保していく活動が経済活性化にもつながると考えています。

希望の党



阿部 真

日本共産党
あべ まこと
43歳
プロフィール
1974年埼玉県上尾市生まれ。県立熊谷高校・早稲田大学卒。党都議団事務局長。2009年12月から党調布柏江府中地区委員長。家族は妻、一男一女。趣味はテニス、読書、音楽鑑賞。
http://senkyo.jcp-tokyo.net/abe/

憲法を守り生かす平和な社会、働く人が健康に働き暮らせる社会をめざし活動して参りました。市民と野党の共同で改憲ストップ、暮らしを守る新しい政治実現へがんばります。

阿部真 7つの約束

- 若者・子育て・高齢者施策を抜本的に拡充します
認可保育園増設、返済不要の奨学金拡充、少人数学級の推進、特養ホームの増設、介護サービス充実、年金引上げ、被災者支援をすすめます。
- 人間らしく働ける社会をつくりまします
非正規から正規へ、残業時間の上限規制で過労死ゼロ、最低賃金時給1500円への引上げを実現します。
- 消費税10%増税を中止、社会保障の財源は大企業・富裕層の負担で確保します
消費税増税は家計と経済に大打撃。富が蓄積している大企業と富裕層に自分の負担求め社会保障を充実します。
- 憲法9条改悪を阻止
安保法制や共謀罪法、秘密保護法を廃止します。憲法を力に平和と民主主義を守ります。核兵器禁止条約にサインできる政府をつくりまします。
- 北朝鮮問題―対話による平和的解決を求めます
戦争になれば多くの命が失われます。戦争は絶対ダメ。対話による平和的解決に真剣に取り組むべきです。
- 原発再稼働ストップ、原発ゼロを実現します
森友・加計疑惑を徹底究明、国政私物化を許しません
- 改憲を主張する政党に市民の希望を託せません。
憲法違反の安保法制を容認し、憲法9条を含む憲法改定を主張している政党に、平和を願う市民の希望を託すことはできません。

改憲ストップ!暮らしを守る

市民と野党の共同で安倍暴走政治を退場させよう!

比例は日本共産党へ書いてください



山花 郁夫

立憲民主党公認
50歳

政治は、政治家のためでも政党のためでもなく、国民のためにあるものです。

今の政治に怒りや危機感を持つ、多くの国民の声に応え、政治の流れを転換させたい。この国に暮らし多様な個々人との対話を通じて、誰もが自分らしく生きられる社会をつくりたい。山花郁夫は平和と人権の旗を掲げ、立憲主義を貫きます。

- 1: 生活の現場から暮らしを立て直します。
- 2: 原発ゼロをめざします。
- 3: 個人の権利を尊重し、ともに支え合う社会を実現します。
- 4: 徹底して行政の情報を公開します。
- 5: 立憲主義を回復させます。

立憲主義とは、政治権力が独裁化され、一部の人が恣意的に支配することを、憲法や法律、民主的法制の確立などによって、防止、制限、抑制しようとする立場です。

山花郁夫は、国民のみなさんの日常の暮らし、現場のリアルな声に根ざした、ボトムアップの政治を実現するために働きます。

まっとうな政治。

分断や排除、アンフェアな政治と決別し、国民のための政治を。

山花郁夫プロフィール

1967年 1月 18日 調布市生まれ
1989年 3月 立命館大学法学部卒業
～99年12月 LEC東京リーガルマインド専任講師
2000年 6月 衆議院議員初当選
2003年11月 衆議院議員二期目当選
2009年 8月 衆議院議員三期目当選
外務大臣政務官、法務副大臣
衆議院選挙にて惜敗
枝野幸男代表とともに立憲民主党結成

自由や共生、愛を大切に
する人たちの受け皿になります。
立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

責任ある変革で日本創生

伊藤達也プロフィール

1961年7月6日生まれ 当選7回
調布一小、調布中、慶應義塾高校を経て慶應義塾大学法学部卒業
松下政経塾(5期生)
1993 衆議院議員初当選
2000 通商産業政策次官
2004 金融担当大臣
2008 内閣総理大臣補佐官
2009 関西学院大学専門職大学院 教授
2013 自民党国際局長
中小企業・小規模事業者政策調査会長
2014 地方創生・国家戦略特区担当大臣補佐官
現在
自民党/社会的事業に関する特命委員長
2020年オリンピック・パラリンピック東京大会実施本部長代理
調布市軟式野球連盟会長
調布市ラグビーフットボール協会会長
柏江市体育協会顧問 等

公明党推薦 比例代表も自民党へ

景気・雇用
アベノミクスの加速で景気回復
成長の果実を手元へ届ける

- ロボット、IoT、人工知能などで生産性向上を図り、所得増につなげる
- ローカルアベノミクスで地域経済を底上げ
- 中小企業の事業承継を支援 ●同一労働同一賃金の実現

医療・介護・福祉
高齢者も若者も安心できる
「全世代型社会保障」をつくる

- 50万人分の介護の受け皿整備 ●地域包括ケアシステム強化
- 心のバリアフリー推進。ユニバーサルデザインのまちづくり

子育て・教育・女性
未来を担う子どもたちに
保育・教育の無償化を実現する

- 3-5歳の幼稚園・保育園を無償化 ●32万人分の保育の受け皿整備
- 給付型奨学金、授業料減免措置拡大 ●女性の起業支援

安全保障・外交・国のかたち
世界と連携して
北朝鮮の脅威から生命と暮らしを守る

- 現実的な安全保障政策で核・弾道ミサイル計画を放棄させる
- 震災復興の加速 ●被選挙権年齢の引下げ ●憲法改正を目指す

地域・東京五輪パラリンピック
ラグビーワールドカップや
東京五輪パラリンピック大会の成功で
地域を元気にする

- スポーツ都市戦略で地域経済を活性化 ●国内テロ防止を徹底
- 社会の課題を補助金に頼らず解決する社会的事業を応援し、助け合いや絆を大切に社会を築く ●都市農地の賃借円滑化



伊藤 達也

自民党公認
56歳

おごりのない誠実な姿勢で政治に取り組みます。

東京都第22区の区域は、次のとおりです。

◎三鷹市の全域 ◎調布市の全域 ◎狛江市の全域

◎稲城市の次の地域

矢野口、東長沼、大丸、百村、押立、向陽台1～6丁目

投票日10月22日(日) 午前7時から午後8時まで

(ただし、檜原村、奥多摩町及び新島村では、午前7時から午後6時まで)

小笠原村第二投票区(母島)では、10月21日(土)午前7時から午後8時まで

投票方法「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者氏名」を記載

◇比例代表選出議員選挙 → 「政党等の名称」を記載

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

・期日前投票期間 10月11日(水)～10月21日(土) 午前8時30分から午後8時まで

・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票所によって、投票できる期間等が異なる場合がありますので、区市町村の選挙管理委員会におたずねください。)